

日本禁煙学会認定

# 2019 年度 卒煙サポーター研修

受動喫煙が健康に悪影響を及ぼすことは、科学的に明らかであり、心筋梗塞や脳卒中、肺がんに加え、子どもの喘息や乳幼児突然死症候群等のリスクを高めることがわかっています。厚生労働省ではこれを踏まえ、受動喫煙防止対策の必要性という共通認識を拡大し、受動喫煙のない社会を目指すことに多くの人が賛同でき、社会的気運を向上するために、「受動喫煙のない社会を目指して」ロゴマークを発表しました。

今では、たばこを吸うことに健康影響があると知らない人はいないでしょうが、たばこを吸う人は、そうした健康影響の詳細を知らなかったり、まだずっと先の話だと思ったり、たいしたことがないと過小評価する傾向があることが知られています。

厚生労働省は、2020年の東京五輪・パラリンピックに向けて受動喫煙防止への法制度化を推進するとしています。

平成28年度の診療報酬改定では、重症化予防の取り組みとしてニコチン依存症管理料の対象患者が見直され、若年層のニコチン依存症患者にも治療が実施できるよう、対象患者が拡大されました。卒煙サポーター研修を受講し、看護職として禁煙に取り組もうとしている方たちをサポートしていきましょう。



この研修を受講された方は、日本禁煙学会が認定する「禁煙サポーター」の申請をすることができる受講証明書を発行いたします。

ただし、認定を受けるには、日本禁煙学会の会員であること（年会費5,000円）が条件であり、別途認定料3,000円が必要です。（一度認定されると更新は不要です）

- 日 時 2019年6月23日（日曜日）13時30分～16時30分  
（受付13時00分～）
- プログラム 13：30～15：00  
「卒煙サポーターに求められる基礎知識」  
（喫煙・受動喫煙の有害性、加熱・電子タバコの有害性、卒煙支援の必要性など）  
講師：村松 弘康先生 中央内科クリニック院長（一般社団法人日本禁煙学会理事）  
15：10～16：30  
「看護職に出来ること -当院の取り組み-」  
講師：鈴木 恭子先生 国立がん研究センター中央病院 摂食嚥下障害認定看護師
- 会 場 東京都看護協会会館 1階B 研修室  
※注 2019年4月1日より西新宿に移転いたしました。裏面の地図をご確認ください。
- 募集定員 80名
- 対 象 看護職及び日本禁煙学会禁煙サポーターの認定を希望する方
- 参加費 東京都看護協会会員：3,240円 非会員：6,480円
- 申込期間 2019年5月20日（月）～6月17日（月） 厳守！
- 申込方法 東京都看護協会ホームページ(Web) **委員会研修** から
- 問合せ先 東京都看護協会 大橋 (TEL 03-6300-5183)